

■黒沢生活貯水池(黒沢ダム)の概要

【目的】

- ①洪水調節(治水安全度 1/30)
- ②流水の正常な機能の維持
- ③水道用水の供給(安曇野市:1,000m³/日)

【施設諸元】

- ・総貯水容量 : 743,000m³
 - ・治水容量 : 290,000m³
 - ・利水容量 : 340,000m³
 - ・堆砂容量 : 113,000m³
 - ・湛水面積 : 0.041km²
 - ・重力式コンクリートダム
 - ・堤高: 61.5m 堤頂長: 172.0m 堤体積: 158,000m³
- 水道用水 : 110,000m³
流水の正常な機能の維持: 230,000m³

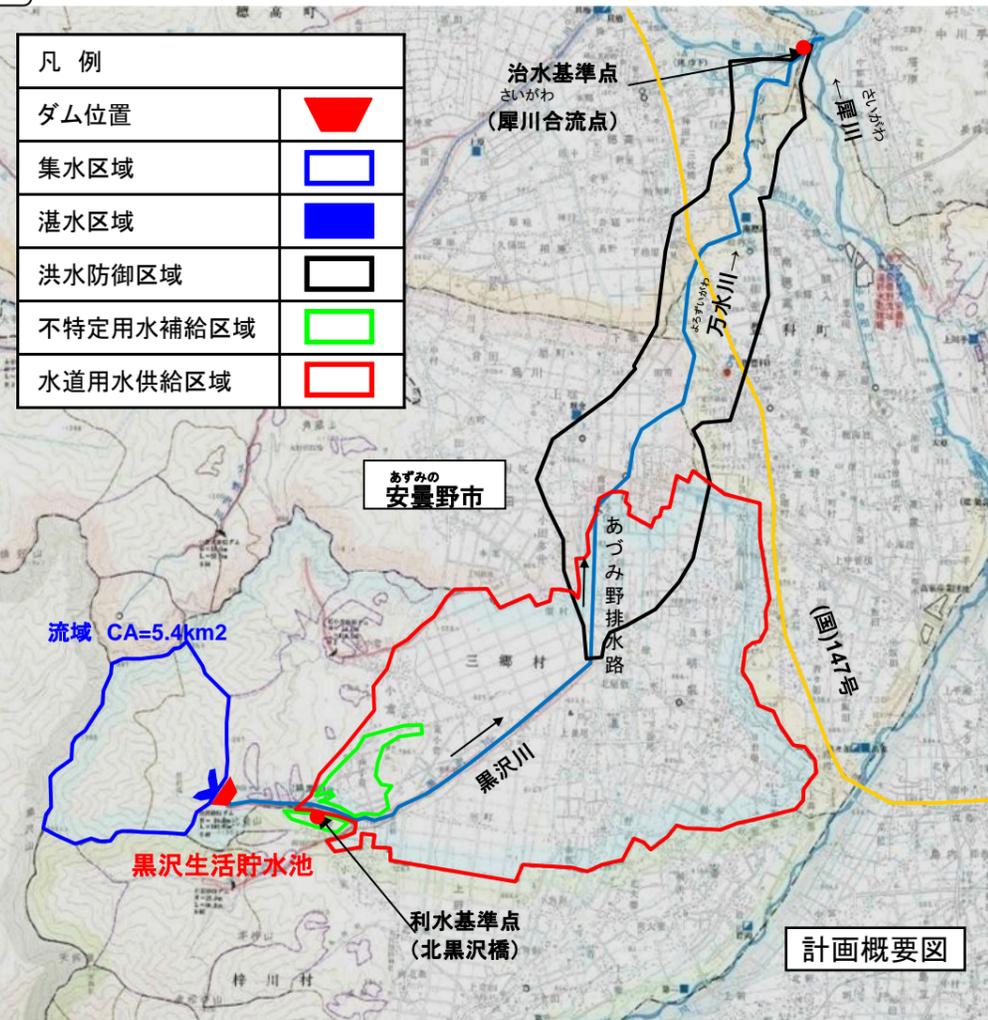
【事業費】

- ・総事業費 : 150億円
- ・執行済額 : 7.4億円(進捗率4.9%)

【事業経緯】

- ・予備調査 昭和60年度～平成2年度
- ・建設事業
 - 平成3年度 建設採択
 - 平成13年2月 「脱ダム」宣言
 - 平成15年6月 長野県治水・利水ダム等検討委員会 ※1 「中止」を答申
 - 平成15年度 公共事業再評価 「ダムによらない治水・利水対策を策定し、現行事業を中止」
 - 平成15年度 黒沢川流域協議会 ダムによらない治水・利水対策の検討を開始
 - 平成20年度 公共事業再評価 「一時休止」
 - 平成22年度 黒沢川流域協議会 ※2 ダムによらない治水・利水対策を提言
 - 平成23年10月 公共事業再評価 「事業中止」

※1 平成13年3月26日に公布された「長野県治水・利水ダム等検討委員会条例」に基づいて設置
 ※2 長野県が平成16年3月14日に設置し計13回開催



■目的別の状況

①黒沢川の治水計画

[現行計画]
 基準点(犀川合流点)において、黒沢生活貯水池により15m³/sを調節し、河道への配分流量を200m³/sとする計画(治水安全度1/30)

ダム案と他の治水対策案との経済比較の結果、調節池による治水対策が経済的

②黒沢川の流水の正常な機能の維持

[現行計画]
 既得用水の補給を行うなど、流水の正常な機能の維持を図るため、黒沢生活貯水池で不特定容量を確保

黒沢川では、近年、
 ・農業用水必要量は減少傾向
 ・ダム計画時より、河川流況が改善している

黒沢生活貯水池によって必要水量を確保する緊急性は低いと判断

③黒沢川の利水計画

[現行計画]
 黒沢生活貯水池により、安曇野市に1,000m³/日の水道用水を供給

安曇野市は、水道ビジョン(H21.3策定)により、「三郷地域の水道水源を黒沢川から地下水に転換」の方針を決定

黒沢生活貯水池による水道用水の供給は不要

■長野県の対応方針

本事業は、黒沢川～万水川の治水対策、流水の正常な機能の維持及び安曇野市(旧三郷村)への水道用水の供給を目的とする生活貯水池事業(ダム建設事業)として進めてきたが、治水は調節池、利水は地下水と、それぞれの対策案が経済的または可能と判断したため、生活貯水池事業を中止とする。なお、治水対策については、現在策定中の信濃川水系松本圏域河川整備計画(黒沢川)に調節池等を位置づけることとする。